



トレーディングカードの読み取り査定機Tays

古本市場などを展開するティツー（岡山県岡山市）では、来期中をめどにトレーディングカードの読み取り査定機の外販を開始する。T

ays（テイズ）の名稱でAI機能を搭載したアプリケーションを既に開発しており、昨年12月から直営店で活用を開始していた。現在認識率の向上とシステムを改良中だといふ。

テイズをインストールしたPCにスキャナを接続し、そのスキャナにトレカを挿入する。テイズを起動すると、画面に表示されるQRコードを読み取る。読み取ったデータは、専用アプリケーションによって分析され、商品の価値が計算される。この結果は、専用アプリケーションによって表示される。専用アプリケーションは、複数のデータベースを用いて、商品の価値を算出する。専用アプリケーションは、複数のデータベースを用いて、商品の価値を算出する。

古本市場などを展開するティツー（岡山県岡山市）では、来期中をめどにトレーディングカードの読み取り査定機の外販を開始する。T

ays（テイズ）の名稱でAI機能を搭載したアプリケーションを既に開発しており、昨年12月から直営店で活用を開始していた。現在認識率の向上とシステムを改良中だといふ。

テイズを起動すると、ティツーのマスターデータから買取りと販売の価格が呼び起こされPC画面に写し出される。対応作品は遊戯王、デュエルマスター、ポケモンなど10種類。1分間で30枚を読み取れる。美品からキズ有りの状態までランクを4つに分け、それぞれで価格を出すことができる。

外販にあたり、導入店舗側が保有するPOSシステムとの連携ができるタイプも検討している。

ティツー トレカ査定機を外販 来期中をめどに

営業本部 商品企画部長
荒金祥行氏

同社は20年2月期に売上高211億円を上げ、うち約18%を新品・中古トレカで構成。「人と対面することで遊べるトレカは、デジタル化が進んでもそれにとってかわることのない遊び。店舗にデュエルスペースを設けることで来店につなげることができ、当社も今後伸ばしていきたい領域」（営業本部 商品企画部長・荒金祥行氏）。

今期はコロナ対策でデュエルスペースを閉鎖したことなどが影響し、3～8月のトレカの売上は前年を下回った。しかし7月後半から上振れ、11月時点では前年を上回るほどに回復基調にある。